

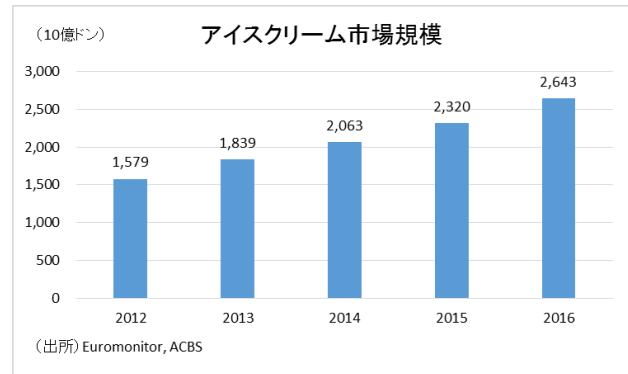
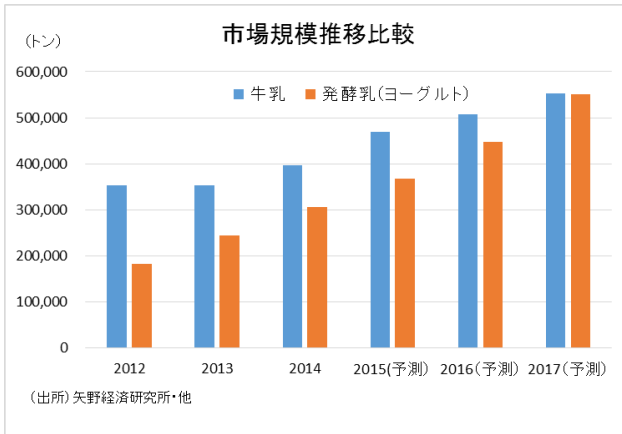
ベトナムの乳製品産業

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-411-965

ホームページアドレス: <http://www.news-sec.co.jp>

＜消費生活の向上と乳製品市場の多様化＞

ベトナムの生活水準が向上しているため乳製品市場も多様化の傾向が見られてきた。たとえば2012年から2017年の5年間に牛乳の市場規模の成長率に比べ発酵乳（ヨーグルト）の市場規模は約2倍のスピードで伸びていると推測される。またある統計によるとアイスクリームの市場も約2倍に成長したと推測される。消費生活が都市部を中心に変化している。



＜ビナミルクは牛乳とヨーグルト市場で優位＞

急成長する乳製品市場のなかで牛乳とヨーグルトの市場シェアトップはビナミルク (VNM) である。2016年のベトナムの牛乳市場の54.5%、ヨーグルト市場の84.7%を占めていると発表されている。ビナミルクの販売体制はスーパーマーケット、ディストリビューター、ダイレクト販売の3つのルートがあるが、いずれも優位に展開している。約20万箇所におよぶディストリビューター経由の販売拠点のほかスーパーマーケット、コンビニはすべて100%同社の製品を扱っていると発表されている。また直営ストアの「ベトナム デイリー ドリーム」も200店以上に達した。

ビナミルクは今後5年の計画において生産体制を整備し、厳格な欧州基準に適合した近代的な生産体制とするとしている。

＜アイスクリーム・冷凍食品に力を入れるキド食品＞

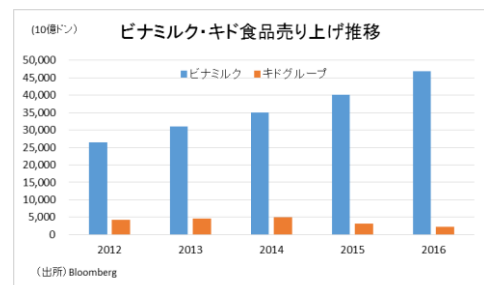
アイスクリーム市場においてはキド食品 (KDC) がトップの市場シェアを保持しており、また冷凍食品にも力を入れている。冷凍食品についてはキド冷凍食品 (KDF) を上場させてそこで生産・販売を行っている。キド食品はアイスクリーム市場での優位性を背景にヨーグルト市場においても今後伸びる可能性はあるものの利益率を見るとキドグループはまだ改善の余地が見られる。ビナミルクの場合は、これは販売体制、広告宣伝費等の面で規模の経済が作用して有利な立場にあるのではないかと推察される。

企業	シェア (%)
キドグループ	37
ビナミルク	9
ユニリーバ	9
ファニー	5
トランティエン	5
他	35

(出所) Euromonitor, ACBS

企業	ROE (%)
ビナミルク	39.3
キド冷凍食品	29.7
キドグループ	21.0
マサングループ	17.5

(出所) Bloomberg, ACBS



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

News201701027-1

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると推定される情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、取扱手数料【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000円)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。